

資産と費用の区分誤り

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項				
淀川清流高等学校	<p>取付工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年7月21日（検査日：令和4年7月21日）</p> <table border="1" data-bbox="531 611 1620 783"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 611 1246 699">工事名称</th> <th data-bbox="1246 611 1620 699">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 699 1246 783">教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事</td> <td data-bbox="1246 699 1620 783">33,000円</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	金額	教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事	33,000円	<p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】 (台帳の取得登録) 第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」とおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。 (1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。 (2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。 (台帳価格) 第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。 (1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」とおりとする。 「別表4 固定資産計上基準表」 (固定資産計上の基本方針) 1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。 2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p>
工事名称	金額					
教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事	33,000円					
措置の内容						
<p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。 検出事項の原因は、担当者が自動栓を資産と認識していなかったことにある。 再発防止に向けて、資産と費用の仕訳や公有財産台帳への登録について、改めて制度を確認するとともに、適切に実施するよう周知した。 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p>						

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）